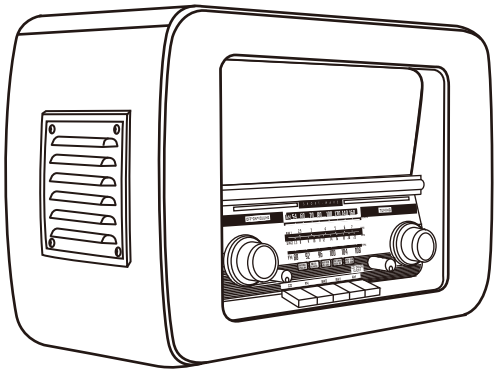
取扱説明書

Bearmax

アンティーク調CDプレーヤー

商品型番：AT-2472（エーティー）



お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意 ---------- 2～3
使用上のご注意 ---------- 4
お手入れのしかた ---------- 4
主な仕様 ---------- 5
ラジオを聴く ---------- 5
CDを聴く ---------- 6～7
故障かな？と思ったら ---------- 7
保証書 ---------- 8

株式会社クマザキエイム

安全上のご注意

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

⚠ 注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないこと。自動車、船舶などの直流電には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

●電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電します。

●本体背面の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

禁止

●CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

指示

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると、火災等の原因となります。

⚠ 注 意

禁止

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

禁止

●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

禁止

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

禁止

●幼児の手の届かない場所に置く
CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因になることがあります。

禁止

●円形ディスク以外は使用しない
円形以外の特殊な形状(星型・ハート型・カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因になることがあります。

禁止

●駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

プラグをコンセントから抜く

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

●お手入れの際は電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

●大音量で長時間聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

●天板(CDドア)を手で開閉しない
必ず【天板開閉ボタン】で操作してください。 故障の原因になります。

使用上のご注意/お手入れのしかた

取り扱いについて

・CDカバーを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。

・本機には強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。

ー時計

ークレジットカードなどの磁気カード

ーカセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。

CDについて

・本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型・ハート型・カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-R/RWについて

・本機は、CD-DAフォーマット＊で記録されたCD-R（デコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。

＊CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

・本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CDの取り扱いかた

・文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。

・紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

・長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくと、そりの原因になります。

お手入れのしかた

●CDのお手入れ

・指紋やほこりによるCDの汚れは、音楽低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

・ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

・ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

●本体

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。（変色や変質の恐れがあります。）

●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。

◎ゴミやほこりがついた場合

市販のブロワーでレンズを２，３回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

◎指紋などがついた場合

ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。

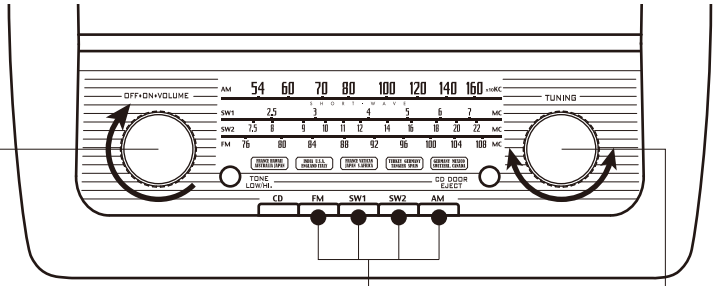
※ご注意

クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。

レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

ラジオを聴く

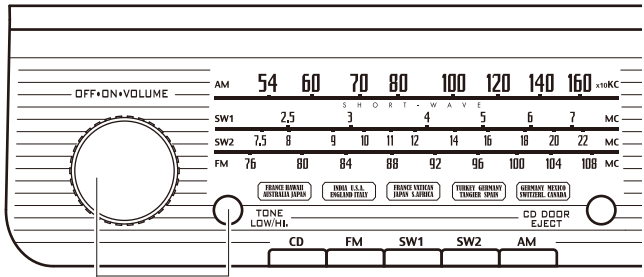
準備： 電源コードを壁のコンセントに接続してください。



①【電源／音量調節ダイヤル】を時計回りに回して電源を入れます。

②聴きたいラジオの【切換ボタン】を押します。

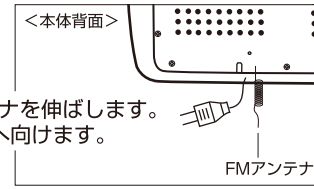
③【ラジオ選局ダイヤル】で、放送局を選びます。



AM： AMラジオ
SW1： 短波ラジオ１
SW2： 短波ラジオ２
FM： FMラジオ

④【電源／音量調節ダイヤル】で音量を調節します。
【音質調節ダイヤル】で音質を調節します。

⑤電波の受信がうまくいかない場合は...
FM放送の場合：受信状態が良い方向へFMアンテナを伸ばします。
AM放送の場合：本体を最も受信状態の良い方向へ向けます。



⑥【電源／音量調節ダイヤル】を左にいっぱい回すと電源が切れます。
（カチッと音がするまで回してください。）

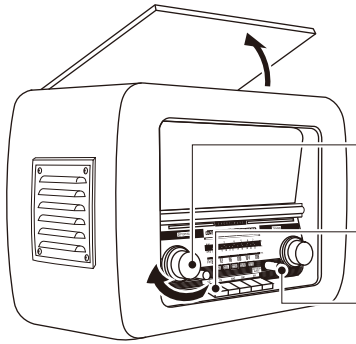
製品の主な仕様

受信周波数：	FM:76～108MHz AM:525～1640KHz SW1:2.5～7MHz SW2:7.5～22MHz
スピーカー出力：	1.8W×2
電源：	AC 100V 50/60Hz
消費電力：	17W
最大外形寸法（約）：	（幅）369×（高）263×（奥行）225mm
質量（約）：	5.5kg

CDを再生する

準備： 電源コードを壁のコンセントに接続してください。

天板（CDドア）の開閉



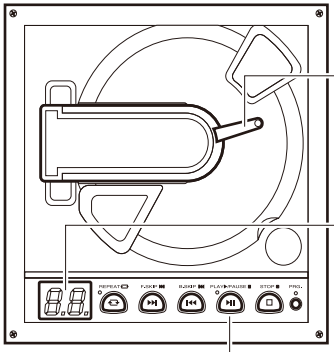
⚠注：天板は手動では開閉できません。

①【電源／音量調節ダイヤル】を時計回りに回して電源を入れます。

②【切換ボタン/CD】を押します。

③【天板開閉ボタン】を押します。

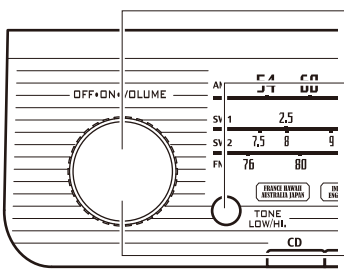
CDの再生



④【ディスクアーム】を持ち上げ、CDを印刷面を上にしてセットします。
【ディスクアーム】を静かにCDの上に置きます。

⑤【表示窓】に、CDの全曲数が表示されます。
（CDの読込みに数秒間かかります）

⑥【再生ボタン】を押すと再生をはじめます。
脇の【再生/一時停止ランプ】が点灯します。

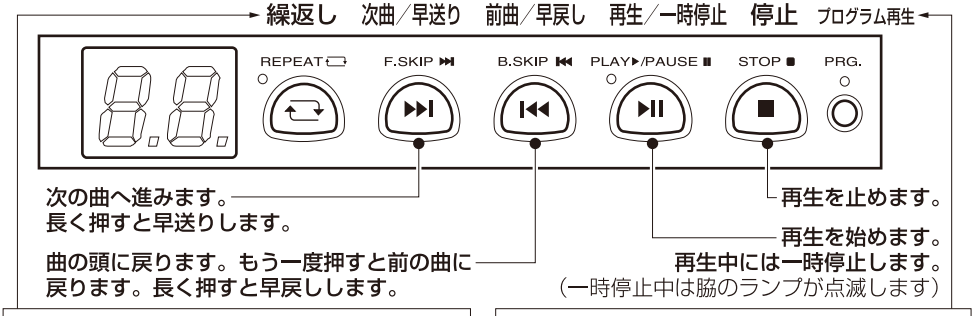


【電源／音量調節ダイヤル】で音量を調節します。

【音質調節ダイヤル】で音質を調節します。

【電源／音量調節ダイヤル】を左にいっぱい回すと電源が切れます。
（カチッと音がするまで回してください）

その他の操作



繰返し再生

・1曲を繰返す：【繰返しボタン】を1回押します。
（脇のランプが**点滅**します）

・全曲を繰返す：【繰返しボタン】を2回押します。
（脇のランプが**点灯**します）

プログラム再生

①停止中に【プログラム再生ボタン】を押します。
【プログラム再生ランプ】と【表示窓】が点滅します。
②【次曲/前曲ボタン】でプログラム再生したい曲を選びます。
【プログラム再生ボタン】を押して決定します。
③2番の作業を繰り返して、曲順を設定します。
④【再生／一時停止ボタン】を押すとプログラム再生を始めます。
停止ボタンを2回押すと設定を解除します。

故障かな？と思ったら

お客さまご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。

症状	チェック項目
共通	
電源が入らない。	・電源コードをコンセントにしっかり差し込む。 ・【電源入切/音量調節ダイヤル】を時計回りに回して電源を入れる。
音が出ない。	・【電源入切/音量調節ダイヤル】を時計回りに回して音量を調節する。
CD部	
天板(CDドア)が開かない。	・【CD切換ボタン】を押してから【天板開閉ボタン】を押す。
演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。 →印刷面を上にしてセットする。 ・レンズに露(水滴)がついている。 →CDを取り出して天板(CDドア)を開けたまま1時間くらい置く。 ・CD-R/RWに何も記録されていない。 ・CD-R/RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。MP3は再生できません。
音がとぶ。	・CDの汚れがひどい。傷がある。 →クリーニングする。CDを取り替える。(4ページ) ・振動のない場所に置く。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。
ラジオ部	
雑音が入る。	・テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聴くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	アンティーク調CDプレーヤー 商品型番：AT-2472
保証期間	お買い上げ日から１年間　（ お買い上げ日　　年　　月　　日 ）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]

・正常な状態(取扱説明書に従った状態)で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源(電圧、電流、周波数)による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入・総発売元:
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17
TEL ：045-401-7486
FAX ：045-435-0057
E-mail ：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

200703